



教育目標

よく考え 思いやりのある 元気でたくましい子供

第7次福島県総合教育計画

平田村教育指針

すくすく いきいき 未来を拓く ひらたの教育

豊かな心とたくましく生きる力を育む学校教育

- “主体的・対話的で深い学び” “個別最適な学び” による確かな学力の育成
- “ひらた清風中学校” を核とした小中一貫教育の推進
- ふるさと教育による “ふるさとひらた” を愛する心の育成
- 国際化、情報化社会を生きるコミュニケーション能力の育成

《学びの変革》

- 全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行・画一的な授業等から、「個別最適化された学び」「協働的な学び」「探究的な学び」へと学び方の変革を進める。
- 子どもたちが、学ぶ意義を、学ぶ過程で自ら見いだしていけるような学びを進める。

《学校の在り方の変革》

- 「子どもたち一人一人に必要な力を確実に育成していく」という本来の学校の役割を果たすことができるよう、学校・家庭・地域が広く認識を共有し、学校の在り方の変革を進める。
- 働き方改革等により質の高い教育活動を展開する。

目指す教師像

- 教育公務員としての自覚と使命感をもった教師
- 笑顔あふれる教師
- 子どもの可能性を信じ、「分かった」「できた」喜びを与える教師
- 組織の一員として、協働するよさを感じながら働く教師

目指す学校像

- 授業が分かり、確かな学力が身に付く学校
- 児童にとって安全・安心な学校
- 家庭・地域との連携が図られ、信頼されている学校
- 常に改善・工夫を加え、前進・向上する学校

〔知識及び技能の習得〕

- 学習習慣及び基礎的・基本的な学力を身に付けている
- 基本的な生活習慣を身に付けている

〔思考力、判断力、表現力等の育成〕

- 自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる
- 相手の気持ちを考え、認め合える
- 自分で判断し、行動できる

〔学びに向かう力、人間性等の涵養〕

- 目標に向かい、粘り強く取り組もうとする
- 友達と協力し、高め合おうとする

確かな学力を育む

自分の考えをしっかりともち、
確かな学力を身に付けた子供

- 1 基礎的・基本的な学力の定着**
 - 学習規律・生活規律の共通実践
 - 校内実力テスト（国語・算数）の実施
 - タブレット端末の効果的な活用
 - 授業と関連を図った家庭学習の質的改善
- 2 授業改善**
 - すべての子どもが「学び出す」「学び合う」「学びとる」授業
 - 現職教育の充実
 - 日常的な互見授業の実施
- 3 読書習慣の確立**
 - 学校司書、読み聞かせボランティアとの連携
 - 平田村「子どもたちにおくる本」読破の推進

豊かな心を育む

思いやりや感動する心を
身に付けた子供

- 1 望ましい人間関係の育成**
 - 互いのよさを認め合う場の積極的な設定
 - 自己存在感、自己肯定感等を感じさせる学級づくり
 - Q Uテスト、困りごと調べ等の実施と結果の分析等によるいじめ・不登校の未然防止、早期発見、早期対応
 - 人間関係を深める異学年交流（縦割り班活動）の積極的推進
- 2 道徳教育の充実**
 - 「考え、議論する道徳」の授業の実践
 - 全教育活動を通じた道徳的実践力の育成
- 3 豊かな体験活動の充実**
 - 活動のねらい・意義の指導と意欲の喚起
 - 外部講師の積極的活用と地域との交流
 - 総合的な学習の時間における探究的な学習の推進

健やかな体を育む

健康で、たくましく生きる
体力を身に付けた子供

- 1 体位・体力の向上**
 - 体育科授業での「運動身体づくりプログラム」の実施と十分な運動時間の確保
 - 各種校内記録会に向けた自己目標の設定と練習の奨励
 - 「ランジャンタイム」や「自由遊び」による運動の日常化
- 2 健康教育、食育の充実**
 - 健康課題（視力低下、肥満、う歯）に対する指導の充実
 - 給食指導、食に関する授業の実施
 - 「早寝・早起き・バランスのよい朝ご飯」の励行
- 3 安全教育の充実**
 - 自分の命は自分で守る態度の育成
 - 校舎内、校地内、学区内の安全な環境づくりによるけが・事故の予防

令和7年度 学習規律・生活規律

1. 学習規律

□授業が始まる前に

- ①学習用具のじゅんびをして、しずかになつ。

□授業中

- ②よいしせいで学習する。
- ③名前をよばれたら、はっきり「はい」とへんじをする。
- ④話を聞くときは話し手の方を見る。
- ⑤聞き手に伝わるようにわかりやすく話す。

□その他

- ⑥宿題をきちんとする。
- ⑦校歌や今月の歌を大きな声で歌う。

できることを
ふやしていこう。



2. 生活規律

- ①自分からすすんであいさつをする。
- ②友達の名前に「さん」や「くん」をつける。（よびすてしない）
- ③ていねいな言葉で話す。
- ④つくえの中やロッカーの中を整理・整頓する。
- ⑤はき物（スリッパ、くつ、シューズ）をそろえる。
- ⑥席をはなれる時は、いすを入れる。
- ⑦ろうかば、右がわをしずかに歩く。
- ⑧早ね・早おき・バランスのよい朝ごはんを心がける。
- ⑨わすれ物をしない。

こども園・小中学校との交流・連携

～すくすくジュピアプランの推進～

- 小一プロブレム解消のため園小交流
- 中学校生活を見据えた小中交流
- 中一ギャップ解消のための小中交流

家庭・地域との連携

- 各種おたよりやHPによる情報発信
- 地域の「ひと・もの・こと」を生かした体験活動の充実とふるさと教育の推進
- 「子ども見守りe y e活動」による登下校の安全確保
- 水曜日「ひらた読書の日」の実践

特別支援教育の充実

- 支援を要する児童の発達課題の理解
- 個のニーズに応じた支援と援助
- 交流・共同学習による共に学ぶよさの体得
- 家庭、地域、関係機関等との連携

信頼される学校づくり

- 児童に寄り添う教職員
- 教職員の資質・能力の向上
- 不祥事防止の徹底
- チーム力を生かした組織対応
- 学校評価等の効果的な活用